

平成25年度農業振興に関する 要請に対する回答書

<要請項目>

I. 施設園芸対策

1. ミョウガの養液栽培システムの早期実現に向けた研究加速化について
・・・ 1
2. 農業用電気料金の値上げ抑制と基本料金の安価な設定について
・・・ 3
3. 高知県産木質ペレットの供給体制の強化について
・・・ 5
4. 園芸用ハウス流動化促進事業の補助対象の拡大について
・・・ 6

II. 米・畜産対策

1. 畜産農家の規模拡大（増頭）を支援する「補助付きレンタル畜舎事業」の
創設について
・・・ 7

III. 農政課題に関する要請

1. 南海地震に備えた農家のBCP策定のための行政指導について
・・・ 9

I 施設園芸対策

1. ミョウガの養液栽培システムの早期実現に向けた研究加速化について

本県の主力品目であるミョウガについては、養液栽培システムが栽培面積の9割近く普及しています。

栽培管理上の課題として、排液処理を行う装置の実用化に向けた研究に取り組まれています。現状のところ実用化にまで至っていません。

また、ミョウガは栽培管理が難しく生産量も不安定になることが懸念されることから、養液栽培で使用できる農薬の登録拡大に向けた試験を早期に実施する必要があります。

環境への負荷を減らす取組として、排液処理装置の早期実用化と養液栽培で使用できる農薬の登録拡大に向けた試験研究を加速化するよう要請します。

(環境農業推進課)

(回答)

- 1 農業技術センターが民間企業と共同開発したミョウガの排液処理装置は、平成20年度から現地圃場での実証試験を行い、試験の中で明らかになった問題点や、利用者からの意見などをもとに改良を加え、実用性を高める努力を続けております。

- 2 排液処理装置には、排液中のチッソとリン及び排液の色を水質汚濁防止法に準拠した基準以下に除去する能力が求められています。しかし、現在の装置では、リンの処理能力が不安定であるため、実用に向けてはもう少し改良しなければならない状況です。

- 3 養液栽培における排液処理対策は、環境保全型農業を推進する本県の重要課題であることから、今後は工業技術センターや民間企業の協力も得ながら、工業分野などの廃水処理で利用されている技術を活用し、装置の改良に取り組んでまいります。

- 4 また、ミョウガの農薬登録についても、積極的に取り組んでおり、これまでに35剤の登録を実現してまいりました。ただし、県では、環境に優しく安全な農作物の生産を重視する観点から、登録については慎重な検討が必要と考えています。

- 5 株元に直接注入する農薬については、土耕と養液栽培では防除効果や作物への残留、環境への影響などが異なる可能性があることから、本年度は排液中に溶出する農薬の濃度測定を現地と協力しながら行うこととしております。

I. 施設園芸対策

2. 農業用電気料金の値上げ抑制と基本料金の安価な設定について

現在、四国電力では原子力発電所の稼働を停止し、電気料が徐々に値上がりしていますが、電気料金が値上げされると、ヒートポンプ原理を利用した加温機導入農家の経営を圧迫し、本県施設園芸の省エネルギー化を抑制することとなるので、値上げをしないように働きかけることを要請します。

また、基本料金については、少量しか電気を使用しない場合の安価な設定と、夏場に電気を使用しない場合のさらに安価な設定を働きかけるよう要請します。

(回答)

- 1 四国電力への要請については、農協農政会議と県とがお互いに知恵を出し合って効果的な内容を検討していくとともに、JAが要望活動を行う際には県からも同行をするなど、協力をしてまいります。
- 2 また、農業技術センターで昨年度から行っている「こうち新施設園芸システム」の研究の中で、ヒートポンプの利用技術に関しても、さらに研究を進めてまいります。

- 3 ヒートポンプ導入のメリットを維持するためには、イニシャルコストの軽減も有効です。そのため、レンタルハウス整備事業において、重油ボイラーとの価格差について補助上限額の引き上げを検討いたします。

I. 施設園芸対策

3. 高知県産木質ペレットの供給体制の強化について

本年5月のセシウム問題の影響もあり、今後ますます県内産木質ペレットの需要拡大が見込まれます。県内産を中心とした安価で高品質な木質ペレットの安定供給が望まれることから、生産量を高めるため、新規製造施設の追加整備も視野に検討を進めるなど、県内産木質ペレットの供給体制の強化を要請します。

(回答)

- 1 セシウム問題のあった県外産の木質ペレットは、国の基準に照らしても安全性に問題はないと考えていますが、施設園芸は食に関わることで風評被害の心配はもっともであり、安心の出来る県内産の木質ペレットの供給は重要であると考えています。また、そうした取組は、県内で資金が循環することにも繋がります。
- 2 そのためにまずは、既存の木質ペレット製造施設の改善を優先させて、出来るだけ早く県内産木質ペレットの供給量を増やす努力をするとともに、当面不足する分については西日本で生産された製品を中心に、流通業者と連携しながら燃料の確保に努めます。
- 3 そのうえで、新たな木質ペレット製造施設の整備については、大きなプロジェクトになりますので、関係者との協議を進めてまいります。

I. 施設園芸対策

4. 園芸用ハウス流動化促進事業の補助対象の拡大について

「園芸用ハウス流動化促進事業」をより活用しやすい事業とし、園芸用中古ハウスの再利用を促進するため、施工費およびハウスの移設費、新規附帯設備の取り付けにかかる費用についても当事業の補助対象とすること。

(回答)

1 本県の園芸振興には、園芸用ハウス面積の維持が不可欠であり、また、規模拡大農家や新規就農者の投資負担の軽減による力強い担い手の育成を図る必要もあります。

2 レンタルハウス整備事業で実施した中古ハウスの活用は、平成21年度から23年度の3年間で5件42aの実績でした。

今年度から新たに実施している園芸用ハウス流動化促進事業は、農家のニーズにマッチしたものと考えられ、既に6件110aの整備が進んでいます。

今後とも、中古ハウスの再利用が一層進むよう、ご要望をふまえ補助対象経費の見直しを検討してまいります。

Ⅱ. 米・畜産対策

1. 畜産農家の規模拡大（増頭）を支援する「補助付きレンタル畜舎事業」の創設について

近年、牛・豚等、本県畜産物の市場認知度・取引は徐々に上昇・安定化しており、飼育農家の規模拡大（増頭）に対する意欲・関心が高まっています。

しかし、規模拡大（増頭）のための畜舎建設には多額の資金を要するため、「土地はあるが畜舎建設に踏み切れない」という畜産農家も多く、規模拡大（増頭）が容易に進まない実情があります。

こうした問題を解決するため、施設園芸で整備され大きな成果が上がっているレンタルハウス事業のような、「補助付きレンタル畜舎事業」を県において新しく創設するよう要請します。

（回答）

本県の特産畜産物につきましては、産業振興計画の品目別総合戦略として位置付け、県内外への認知度の向上や特に県外への流通・販路拡大等の取組を実施しており、現在、県外の飲食店等から高い評価を受け、流通は着実に拡大しております。

一方、飼養頭数や戸数につきましては、高齢化や後継者不足等により減少しております。産業振興計画を進めていくにあた

りましても、生産基盤の強化は重要な課題としてとらえ取り組んでおります。

こうした中、施設整備につきましては、既存の事業や制度を活用し取り組んでいるところでございますが、それぞれの要件等もあることから、ご提案いただきました「補助付きレンタル畜舎事業」につきましても、地域の実情や事業内容等を検討いたしまして、有効な支援策を進めてまいりたいと考えております。

Ⅲ. 農政対策

1. 南海地震に備えた農家のBCP策定のための行政指導について

高知県の施設園芸は主に海岸地帯に集中しており、南海地震で大津波が発生すれば甚大な被害が発生すると予測されますが、被災後にも農家の営農活動が続けられるようBCP（事業継続計画）を策定する必要があります。これらの策定作業は農家個々が独自に行うのではなく、地域ぐるみで行政と一体となってすすめていくことが必要です。

南海地震からの本県農業の被害を最小限に抑え早期に復興させるための農家BCPの策定について、各地域での取り組みがすすむよう、県から各市町村に対し指導するとともに策定チームに参加するよう要請します。

（回答）

- 1 県では、8月29日に出された10mメッシュでの推定に県内のより細かな地形データを織り込み、年内に第2弾の高知県版津波浸水予測を発表する予定です。
- 2 現在の津波対策は、地震発生直後の避難空間作りに力を入れておりますが、これからは応急対策、そして復旧・復興対策が重要になってまいります。このため、年度内に策定する予定の新しい南海地震行動計画では、応急時・復旧時・復興

時それぞれの対策を盛り込み、PDCA で実行と改善を続けてまいります。

3 農業分野では、ため池の耐震化とハザードマップの活用、園芸用ハウスの重油タンク対策に力を入れて取り組んでいるところです。また、東日本大震災の被災地における復旧復興過程をよく研究し、新行動計画に織り込んでまいります。

4 このたびJAグループがBCPの策定に取り組まれることは、大変心強く思っております。この取組については、本県としても十分フォローをしてまいります。各JAが中心となって結成される策定チームには、県も参加をさせていただきますし、各市町村に対しても、加わっていただけるようお願いをしております。